

+  $\alpha$  で楽しちゃおう!  
直しに強い時短テクニック for Web

結城 しおり

Twitter : @hisara\_



- **結城 しおり Shiori Yuki**

9月13日 乙女座 O型

- **主な仕事：**

デザイン全般、Adobe製品のレビュー、各種セミナー、トレーニング、ナレーション、司会業 等

- **セミナージャンル：**

主にデザイン系。でもWebもVideoも、写真系もコンシューマー製品も。とにかく何でも。



晴れ女です♥

とにかく全国を飛び回っています！

# 自己紹介

どのくらい全国を  
飛び回っているかというと…



2012年1月-2月の  
セミナースケジュール

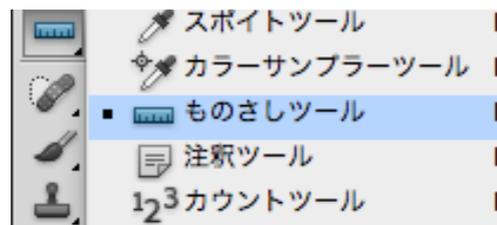
ついたあだ名は：アドビの旅芸人

## 使用頻度の多い、「切り抜き」作業を + $\alpha$ で楽するテクニック

- 切り抜きの基本+  $\alpha$
- 手間のかかる人物の切り抜き+  $\alpha$
- 直しに強いスマートオブジェクト活用法
- レイヤーの表示非表示を切り替えてバリエーション

## 角度を補正して切り抜く

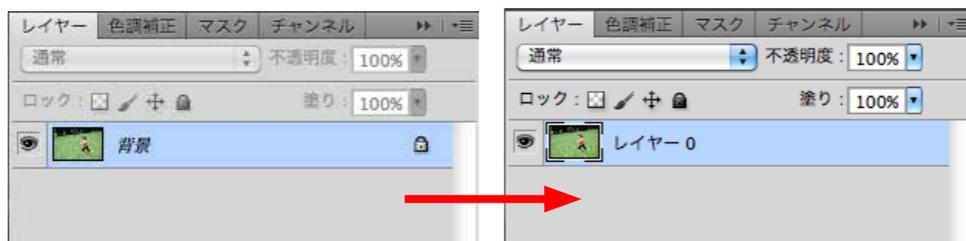
- ① 「ものさし」 ツールで基準の線を引く



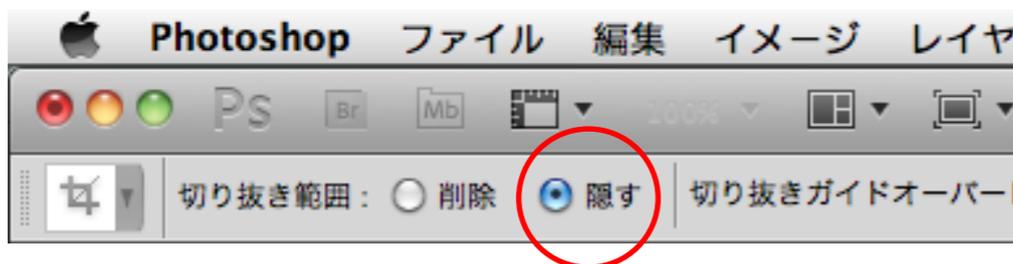
- ② オプションバーの「角度補正」ボタンをクリック

## 画角を後から変更出来る時短 & 直しに強い「切り抜き」

- ① 背景のロックを外してレイヤー状態に



- ② 任意のサイズに切り抜く
- ③ オプションバーの「隠す」にチェックを入れる

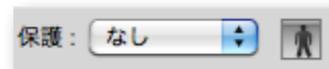


※切り抜きツールのデフォルトは「削除」になっています

## サイズ変更後余白が出来てしまった場合

### ① 「編集」 > 「コンテンツに応じて拡大・縮小」

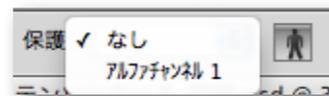
- 人物の場合



オプションバーの「スキントーンを保護」



- 人物以外の場合



サイズを可変しない部分の選択範囲を取り、  
事前にアルファチャンネルとして登録



### ② 任意のサイズに拡大・縮小

## 「境界線を調整」ですばやく切り抜き

- ① 人物を選択し、オプションバーの「境界線を調整」をクリック
- ② 「スマート半径」にチェックをいれ、「エッジの検出」スライダーを調整
- ③ 「不要なカラーの除去」にチェック、スライダーを調整
- ④ 「出力」で「新規レイヤー（レイヤーマスクあり）」を選んでOK

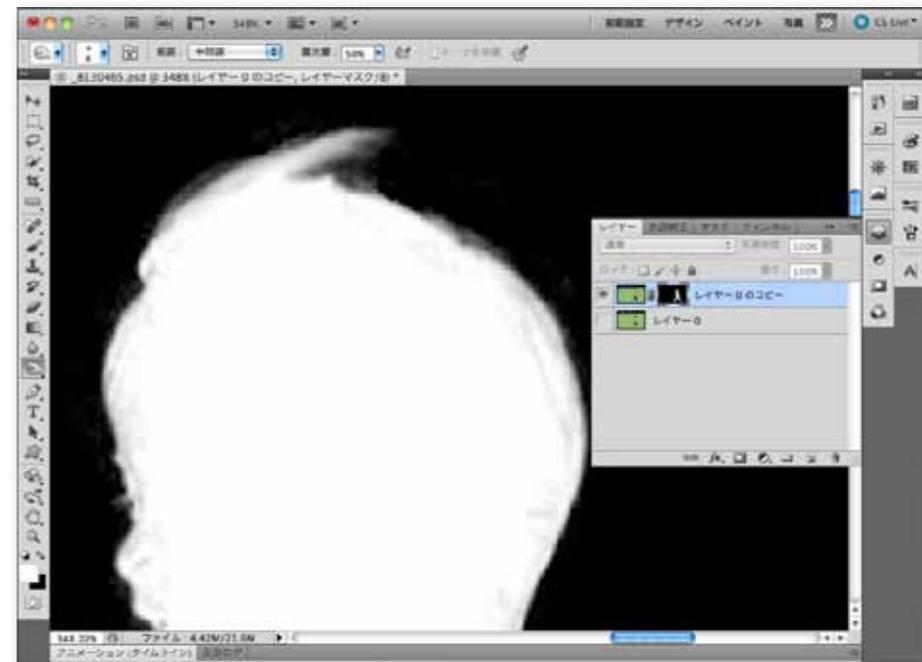


※ 写真にもよるが、「エッジの検出」は数値が大きいと毛羽立ちすぎるので 5px 程度がおすすめ

※ 写真にもよるが、「不要なカラーの除去」は 70% 程度がおすすめ

## 切り抜いたあとの精度上げはマスクで調整

- ① 「境界線を調整」で作成したマスクを確認し、切り抜きすぎている部分は、「覆い焼き」、「焼き込み」ツールでマスクを微調整

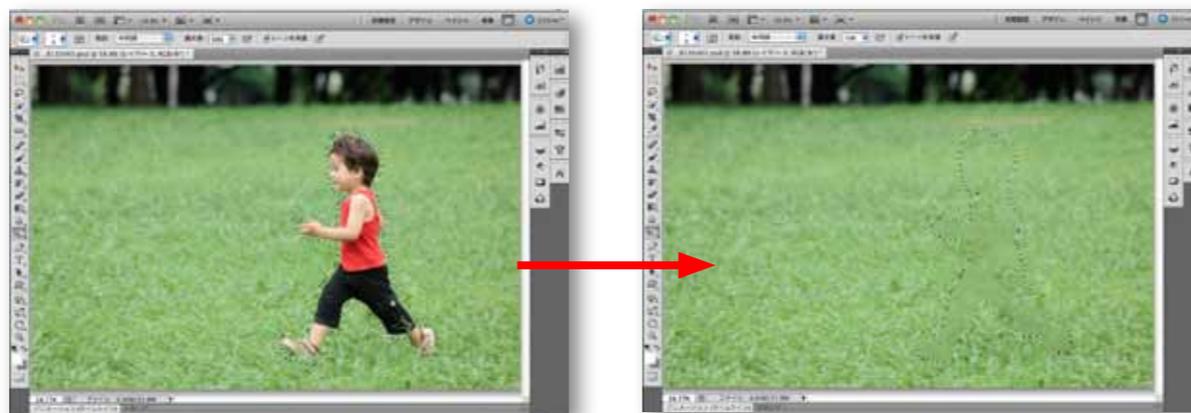


※ マスクはブラシツールで調整するのもありだが、微調整は「覆い焼き」（明るくする）、「焼き込み」（暗くする）で調節した方が細かく調整できる

## コンテンツに応じた塗りつぶしの活用

- ① 不要な部分を選択（少し大きめに選択しておく）
- ② 「編集」 > 「塗りつぶし」 > 「コンテンツに応じる」

- 選択範囲内を消すことが出来る



- 選択範囲内を自動生成



## スマートオブジェクトはバックグラウンドにデータを内包しておくもの

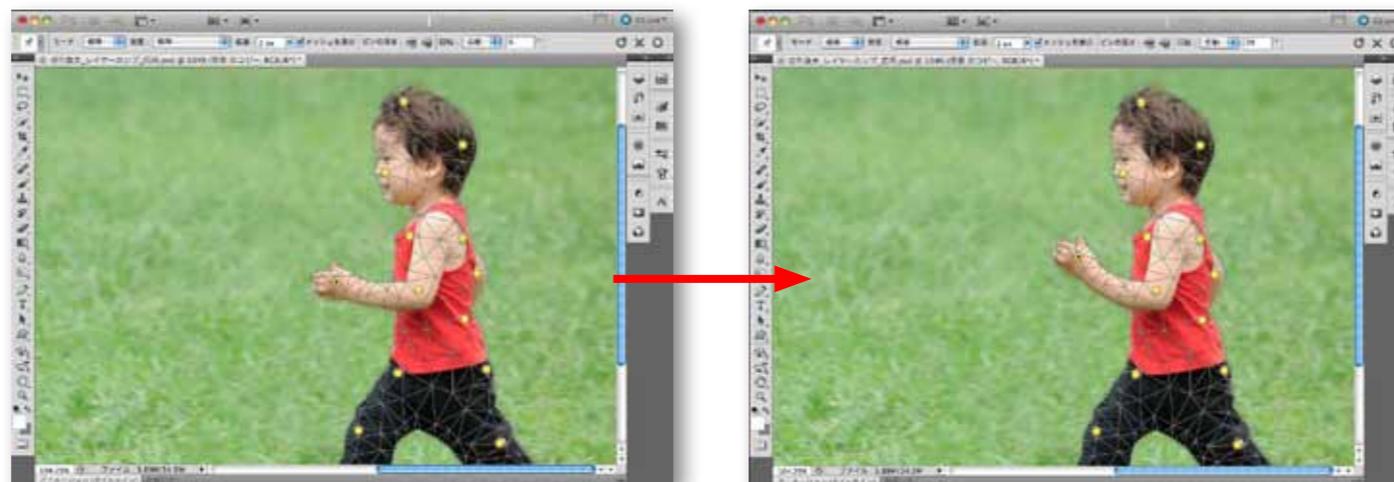
- 拡大・縮小、回転、変形しても作業中は画像が劣化しない
- フィルターをかけると調整レイヤーのように効果が付き、後から修正できる
- 素材を合成して作成した際、最後に全体のトーンを揃えるためにレイヤーを統合してノイズをかけたりするが、スマートオブジェクト化しておけば個々のレイヤーを後から修正できる

※ スマートオブジェクト化すると一部のフィルターが使用できない

## おまけ：

## スマートオブジェクト+パペットワープ

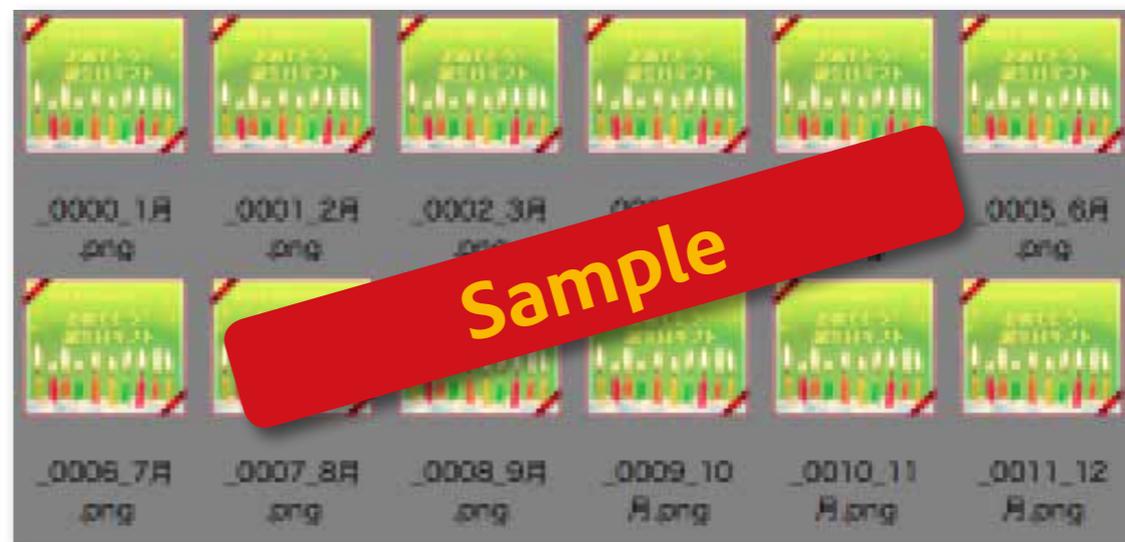
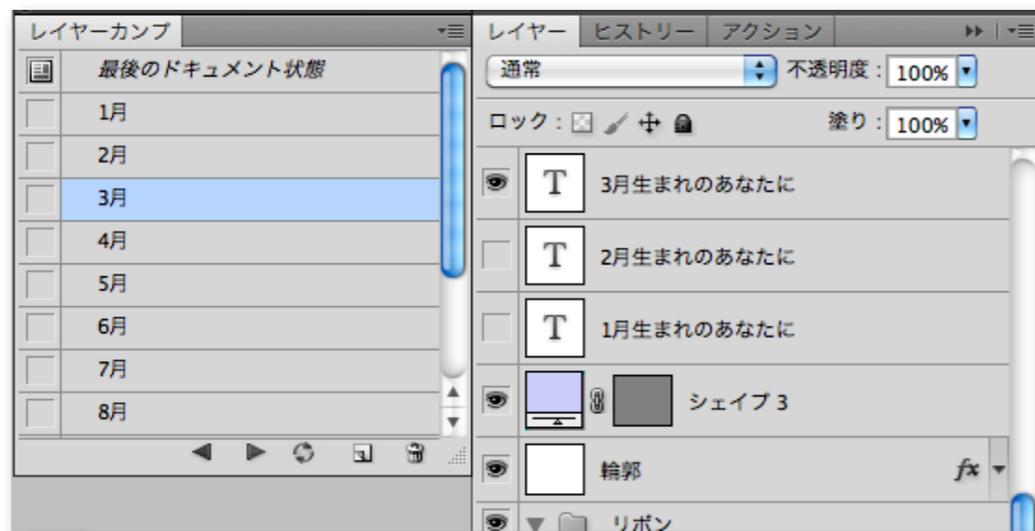
- ① 切り抜いた画像をスマートオブジェクトに変換
- ② 「編集」>「パペットワープ」
- ③ 動かしたい部分と動かしたくない部分に「ピン」を打つ



髪の毛やスカート等の広がり、モデルの首の傾きなどの修正に活用

## レイヤーカンパ：バナーのバリエーション やメニューアイコンの高率的な作成に

- ① 「ウィンドウ」 > 「レイヤーカンパ」



日付の違うキャンペーンバナーなど1ファイルで作成・管理に

- 切り抜きは「**隠す**」オプションを活用
- 細かい切り抜きには、「**選択範囲の調整**」を使いこなそう
- サイズの足りない部分は「**コンテンツに応じる**」機能を活用
- 複数のアイコンは「**レイヤーカンプ**」で1ファイル作成
- 「**スマートオブジェクト**」は使い方次第で直ちに強いデータに早変わり

本日はありがとうございました！

Twitter : @hisara\_

